

かすかべ 議会だより

KASUKABE

2024(令和6)年8月1日発行
発行・埼玉県春日部市議会
編集・広報広聴委員会
<http://www.kasukabe-shigikai.jp/>

第76号



藤まつりの様子 (令和6年4月28日)

大風あげ祭りの様子
(令和6年5月3日・5日)



次の定例会は
8月21日(水)開会予定です

主 な 内 容

主な議案の紹介…………… 2～3 ページ
審議結果・議会構成 …… 3～5 ページ
一般質問…………… 6～14 ページ
閉会中の委員会活動…………… 15 ページ
意見交換会(議会報告会)…………… 16 ページ

「小・中学校等避難所空調設備設置工事 請負契約の締結」を可決

「災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書」、「聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書」を可決

小・中学校等避難所空調設備 設置工事請負契約の締結を可決

法令に基づく、制限付一般競争入札を行い、議案第46号の中学校等避難所空調設備設置工事請負契約は、正和・本田特定建設工事共同企業体が落札業者となりました。また、議案第47号の小学校避難所空調設備設置工事請負契約は、正和・ABC特定建設工事共同企業体が、落札業者となりました。

主な工事内容は、避難所として指定されている小・中学校など12校の体育館への空調設備、換気設備の設置および照明のLED化です。

今回契約予定の12校と現在実施中の他工事などを合わせると、令和6年度中には、小・中学校など34校のうち、20校の体育館に空調設備が設置できる見込みとなります。

【全員一致で原案可決】

議員提出議案

災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書

現在、情報通信技術の進歩と、それに伴う様々なサービスの拡大により、私たちはいつでもどこでも、情報を入手したり、発信したりすることができるようになっています。そのため、インターネット上には膨大な情報やデータが流通していますが、その中には事実とは異なる、偽情報や誤情報が流されることもあり、適切な対処が必要です。

特に、災害発生時における情報は、多くの人々の命に直結する重要なものであり、現在、必死の復旧と復興を進めている能登半島地震においても、多くの偽情報が発信され、現場は大変混乱したとされ、

具体的には、救援を求める情報を受けて現場に行っても、誰もいなかったというケースも多々あったと聞いています。また、被災地の状況を知らせる画像情報においても、現場の実態とは全く違う合成されたと思われる画像も拡散されていました。

いつどこで発生するか分からない災害に対して、特に発災直後は情報が大変に混乱する中で、被災者の命を救うために、1分1秒も無駄にはできません。その活動を大きく阻害する偽情報の拡散防止は喫緊の課題です。

よって、政府に対して、災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築に向けての支援の積極的な推進を求め、強く要望します。

記

1 情報発信者や情報発信機器の事前登録等により、情報の信頼性を担保し、現場から

の正確な情報を収集し活用する情報連携環境を整備すること。

2 IOTセンサーやドローンを活用して、リアルタイムで国と地方自治体の災害情報共有体制を整備すると同時に、適切な情報分析と迅速な対策を促す気象防災アドバイザーの自治体への配置を支援すること。

3 正確な情報を発信する公的情報サイトや政府認定のアプリケーション等、国民への普及を強力に推進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年6月17日

春日部市議会

衆議院議長 様
参議院議長 様
内閣総理大臣 様
総務大臣 様
デジタル大臣 様
国土交通大臣 様
内閣府特命担当大臣(防災) 様

【全員一致で原案可決】

聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書

今日、社会の高齢化に比例して、難聴の方も年々増加しています。難聴は認知症の危

険因子の一つと言われており、また難聴になると、人や社会とのコミュニケーションを避けがちになり、その後社会的に孤立する可能性も懸念されています。

この難聴対策として補聴器が知られていますが、一般的に「補聴器」と呼ばれているものは、収集した音を増幅して外耳道に送る「気導補聴器」となり、一方で様々な原因で外耳道が閉鎖している方には、骨導聴力を活用する「骨導補聴器」が用いられてきました。

近年、これらの2種類の補聴器に加えて、耳の軟骨を振動させて音を伝える「軟骨伝導」等の新しい技術を用いたイヤホンが開発されています。この聴覚補助機器は、従来の気導・骨導補聴器では十分な補聴効果が得られない方や、装着そのものが難しい方に対しての新たな選択肢となっています。

このように、さまざまな難聴者に適応できる聴覚補助機器等の選択肢が整った今、政府に対して、我が国の更なる高齢化の進展を踏まえて、認知症の予防とともに、高齢者の積極的な社会参画を実現するために、下記の事項について

て聴覚補助機器等の積極的な活用を促進する取り組みを強く求めます。

記

1 難聴に悩む高齢者が、医師や専門家の助言のもとで、自分に合った聴覚補助機器等を積極的に活用する環境を整えること。

2 耳が聞こえにくい高齢者や難聴者と円滑にコミュニケーションを取れる社会の構築を目指し、行政等の公的窓口などに、合理的配慮の一環として聴覚補助機器等の配備を推進すること。

3 地域の社会福祉協議会や福祉施設との連携のもと、聴覚補助機器等が必要とする人々への情報提供の機会や場の創設等、聴覚補助機器等を普及させる社会環境を整えること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
令和6年6月17日
春日部市議会

衆議院議長 様
参議院議長 様
内閣総理大臣 様
厚生労働大臣 様
内閣府特命担当大臣（民生社会） 様
総務大臣 様
【全員一致で原案可決】

6 月定例会 審議結果

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 () は付託委員会名	審議結果	無所属の会	次世代 かすかべ！ 自民・ 無所属の会	公明 党	日本共産 党	立憲民主 党	日本維新の 会	無 所 属
議案第 39 号	専決処分の承認を求める（税条例の一部改正）（総 務）	承 認	○	○	○	○	○	○	○
議案第 40 号	専決処分の承認を求める（都市計画税条例の一部改正）（総 務）	承 認	○	○	○	○	○	○	○
議案第 41 号	専決処分の承認を求める（国民健康保険税条例の一部改正）（厚生福祉）	承 認	○	○	○	○	○	○	○
議案第 42 号	専決処分の承認を求める（固定資産評価員の選任）（総 務）	承 認	○	○	○	○	○	○	○
議案第 43 号	税条例の一部改正（総 務）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 44 号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正（厚生福祉）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 45 号	水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正（建 設）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 46 号	中学校等避難所空調設備設置工事請負契約の締結（教育環境）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 47 号	小学校避難所空調設備設置工事請負契約の締結（教育環境）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 48 号	牛島小学校校舎トイレ改修工事請負契約の締結（教育環境）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 49 号	川辺小学校校舎トイレ改修工事請負契約の締結（教育環境）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 50 号	桜川小学校校舎トイレ改修工事請負契約の締結（教育環境）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 51 号	財産の取得（春日部消防署備後分署災害対応特殊救急自動車及び高度救命処置用資機材）（総 務）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 52 号	令和 6 年度一般会計補正予算（第 1 号）（総 務・厚生福祉）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 53 号	令和 6 年度一般会計補正予算（第 2 号）（総 務・厚生福祉）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 54 号	令和 6 年度国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）（厚生福祉）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 55 号	令和 6 年度国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）（厚生福祉）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 56 号	財産の取得（春日部消防署災害対応特殊消防ポンプ自動車 C D - II 型（13mブーム付））（総 務）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 57 号	財産の取得（春日部消防団第 1 分団消防ポンプ自動車 C D - I 型）（総 務）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

諮 問

(○:賛成 ×:反対)

諮問番号	諮 問 名 () は付託委員会名	審議結果	無所属の会	次世代 かすかべ！ 自民・ 無所属の会	公明 党	日本共産 党	立憲民主 党	日本維新の 会	無 所 属
諮問第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める 〔藤田 幸子 氏〕（付託省略）	推薦に賛成	○	○	○	○	○	○	○

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対、-:退席)

議案番号	議 案 名 () は付託委員会名	審議結果	自 民 党 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ !	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議第 8 号議案	地域における「こども誰でも通園制度」の制度拡充等を求 める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議第 9 号議案	下水道の維持管理・更新におけるウォーター P P P 導入に 向けての丁寧な対応を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議第 10 号議案	災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への 支援を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 11 号議案	聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 12 号議案	食料自給率を引き上げ、希望が持てる農業への転換を求め る意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×	○ ² × ¹
議第 13 号議案	政党助成制度の廃止を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	×	×	○ ¹ × ²
議第 14 号議案	地方自治法の改正に反対する意見書 (付託省略)	原案可決	○	×	×	○	○	×	○ ² × ¹
議第 15 号議案	離婚後「共同親権」を削除することを求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×	×
議第 16 号議案	企業・団体献金の全面禁止を求める意見書 (付託省略)	否 決	-	×	×	○	○	○	○

新たな正・副議長が 決まりました

6 月定例会において、議長、副議長が辞職したことに伴い、
選挙の結果、議長に小久保議員、副議長に栗原議員が選出され
ました。また、常任委員会委員等においても変更がありました。

正・副議長の就任のあいさつ



市議会副議長
栗原 信司



市議会議長
小久保 博史

市民の皆さまにおかれましては、ますますご清
祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、令和 6 年 6 月春日部市議会定例会に
おきまして、皆さま方の信任を賜り、議長・副議
長に就任いたしました。身に余る光栄であると同
時に、その職責の重さに身の引き締まる思いでこ
ざいます。

さて、昨年に引き続き、お祭りやイベントが盛
大に開催されるなど、市内に活気と笑顔が戻って
きていると感じておりますが、一方で少子高齢化
や高騰する物価への対応、災害に対する備えなど、
本市ではさまざまな課題に取り組んでおります。

今後におきましても、市民の皆さまの期待と信
頼にお応えできるよう、二元代表制の一翼を担う
春日部市議会といたしましても、行政への監視機
能を果たしつつ、市政の充実と発展、住民福祉の
向上に向けて、誠心誠意努めてまいります。

結びに、市民の皆さまにおかれましては、今後
とも、春日部市議会へのより一層のご支援とご協
力を賜りますようお願い申し上げます、就任の
あいさついたします。

委員会 の 構 成

名 称		氏 名 (◎は委員長、○は副委員長)			
常任委員会	総務委員	◎山口 剛一 阿部 雅一	○藤原 智子 山崎 進	酒谷 和秀 荒木 洋美	大野とし子 (欠員1)
	厚生福祉委員	◎木村 圭一 水沼日出夫	○会田 吉幸 奥沢 裕介	榛野 博昇 大里 昇	並木 敏恵 小久保博史
	建設委員	◎吉田 稔 金子 進	○鈴木 一利 鬼丸 裕史	古沢 耕作 河井 美久	今尾 安徳
	教育環境委員	◎永田 飛鳳 平沢 一博	○伊藤 一洋 中村 貴彰	木下三枝子 栗原 信司	石川 友和
議会運営委員会委員		◎石川 友和 阿部 雅一	○鈴木 一利 山崎 進	並木 敏恵 吉田 稔	山口 剛一 木村 圭一
議会改革検討特別委員会委員		◎鬼丸 裕史 石川 友和 大里 昇	○木村 圭一 平沢 一博 吉田 稔	大野とし子 奥沢 裕介	山口 剛一 藤原 智子
中心市街地まちづくり検討特別委員会委員		◎山崎 進 山口 剛一 木村 圭一	○阿部 雅一 中村 貴彰	永田 飛鳳 大里 昇	今尾 安徳 吉田 稔
地域拠点整備検討特別委員会委員		◎荒木 洋美 平沢 一博 鬼丸 裕史	○金子 進 伊藤 一洋	木下三枝子 奥沢 裕介	石川 友和 鈴木 一利
広報広聴委員会委員		◎会田 吉幸 伊藤 一洋	○木下三枝子 中村 貴彰	山口 剛一 藤原 智子	平沢 一博 大里 昇
図書室運営委員会委員		◎会田 吉幸 伊藤 一洋	○木下三枝子 中村 貴彰	山口 剛一 藤原 智子	平沢 一博 大里 昇

議会選出各種議会議員・委員会等委員

名 称	氏 名			
埼葛斎場組合議会議員	永田 飛鳳 金子 進	今尾 安徳 河井 美久	阿部 雅一	鈴木 一利
埼玉県都市ボートレース 企業団議会議員	小久保博史			
利根川栗橋流域水防 事務組合議会議員	会田 吉幸	藤原 智子		
江戸川水防事務 組合議会議員	奥沢 裕介	鬼丸 裕史	木村 圭一	(藤枝 哲也)※
監 査 委 員	水沼日出夫			
市立医療センター 運営委員会委員	木下三枝子 中村 貴彰	永田 飛鳳 鬼丸 裕史	石川 友和 吉田 稔	阿部 雅一 荒木 洋美
国民健康保険 運営協議会委員	大野とし子 荒木 洋美	金子 進	山崎 進	河井 美久
民生委員推薦会委員	会田 吉幸	阿部 雅一		
都市計画審議会委員	並木 敏恵	山口 剛一	奥沢 裕介	鈴木 一利
空家等対策協議会委員	山崎 進			

※ 議員以外から選出

一般質問

市民の声を市政に

※ 各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ることで、一般質問の録画映像をご覧くださいことができます。

※ 小久保博史議長は職責上（議事整理権）、監査委員の水沼日出夫議員は申し合わせにより一般質問は行っていません。

（文責は、各質問者）

一般質問に26人が登壇

豊野方面路線バスを 使いやすく



木下三枝子
議員



春日部駅東口から豊野方面路線バスを利用している高齢者にとって、優しい運行への改善、また春日部駅西口への発着を求めている豊野地域住民からの要望について、認識を伺います。

①増便や鉄道との連携により、待ち時間の少ないダイヤへの改善について②停留所の時刻表の文字が小さい、暗くなると見づらいことに対する改善について③行く先のアナウンスや表示が分かりづらいことへの改善について④停留所へのベンチの設置について、現状と仕様、座面の仕切りはなく、台数も増やして早期に設置することへの市の認識は。

○都市整備部長

春日部駅西口発着については、当時の乗降調査によると、大変利用が少ない状況で、採算性が見込めない路線を復活させることは困難であると伺っており、市としても難しい

ものと考えています。①費用対効果などを考慮した上、現在のダイヤとし、鉄道との連携も、できる限りの対応していると伺っています。②時刻表改正などのタイミングで、必要性を検討していくとのこととです。③ルート表示は費用面からすぐの対応は難しく、また、分かりやすいアナウンスを心掛けていると伺っています。④利用者の利便性や安全性に配慮し、設置可能な場所に設置したいと考えています。

このほか

○認知症について気軽に相談できる春日部市を

公 用 車 の カーシェアリングについて



伊藤 一洋
議員



昨今、環境負荷の低減や自動車保有台数削減の観点からカーシェアリングが社会的に普及しています。

公用車については、ゼロカーボンシティを実現するために、次世代自動車の導入台数を増やすとともに、運用を効率化して保有台数を減らすこ

とが重要です。

埼玉県内では、入間市で12台のEV車をカーシェアリングしていること、また、所沢市とふじみ野市は、民間事業者が設置したカーシェアリング用のハイブリッド車1台を公用車としています。

ゼロカーボンシティの実現や、公用車の保有台数を削減していくためにも、今後カーシェアリングを導入していくことは、非常に有効であると思いますが、本市の考えをお伺いします。

○財務部長

公用車へのカーシェアリングの導入は、次世代自動車の導入による二酸化炭素排出量の削減と併せて、保有台数そのものの削減による取得コストや管理コストの削減にもつながることから、有効な方法であると認識しています。

今後は、カーシェアリングを導入している自治体や民間事業者へのヒアリングを行いながら、本市にとって効果的なカーシェアリングの導入方法について、調査研究していきたいと考えています。

このほか

○春日部市公共施設マネジメント基本計画の進捗について

農業政策について



山崎 進
議員



農業従事者の高齢化、担い手不足、また、ここきて農業資材や肥料の高騰など、農業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。春日部市でも高齢化、担い手不足は深刻で農業離れが進んでいます。本市の農業経営体数は、平成22年には1568が、令和2年には957へと、10年間で611経営体減少しているようですが、日本の一次産業の農業が衰退することは、日本の食生活が、さらに輸入に頼ることになります。そうならないように、農業を守らなければなりません。

そこで、新規就農するための条件を伺います。さらに、新規就農を目指す者の支援策、今後の農業政策について市の考え方を伺います。

○農業委員会事務局長

新規就農の条件は、農業委員会へ新規就農の申し出を行い、営農計画を作成します。

その後、関係機関により、農業経営を適切に行えるか確認し、農地を取得・借り入れすることが条件となります。

○環境経済部長

支援策は、農業機械を導入などする者に対して、一定の要件の下、補助金があります。

○市長

今後の農業政策については、魅力ある農産物の生産と春日部ブランドの構築、農業機械などへの補助、農業基盤整備やあつせんなど、さまざまな角度から支援していきます。

このほか

○交通安全



農業支援（イメージ）

春日部桐筆笥から つなげる姉妹都市へ



吉田 稔
議員



伝統的工芸品として国の指定を受けている「春日部桐筆笥」。桐たんすの組合員や団体の皆さんが独自の活動の中で過去にパリで3回の展示会を開催しました。そこでパリと春日部の産業や文化が非常に似ていることが分かりました。①桐製品がとても人気。②エッフェル塔の並木通りの街路樹は桐の木が植樹されている。③漆がなじみ深く愛されている。④たこが文化として根付いている。⑤クレヨンしんちゃんが大人気。

これだけ共通項の多いパリであれば、姉妹都市の可能性もあり得ると思いますが、以下について伺います。

①姉妹都市の要件

②パリとの姉妹都市の可能性

○市民生活部長

本市の姉妹都市の要件について、特段規定はありませんが、自治体の国際化を支援している一般財団法人自治体国

際化協会において、姉妹自治体の要件として、両市長による提携書があること、交流分野が特定なものに限られていないことなどを挙げています。協定の締結に当たっては、相手方との友好・親善的な交流や実務的な協力など、さまざまな交流の積み重ねが必要と考えます。まずは春日部桐たんす組合をはじめとした民間団体と、パリ市に関連する民間団体との間の交流活動を注視していきます。

このほか

○いよいよオープン ハルカイト

心から市民に寄り添った対応を！(特におくやみの対応)に關してー



石川 友和
議員



ある方のご遺族のおくやみに関する手続きに同行した際にいろいろと感じた市役所の対応で、どれだけ遺族に対する精神的負担軽減策が行われているのか伺います。

①市として行っている遺族に対する精神的負担軽減策の手続資料の内容について、おく

やみカードに「死亡」という表記が多数ある。配慮が足りない気がするが認識について。

②県内においてワンストップで手続きが完了する、おくやみコーナーを既に設置している市の数について。

③おくやみコーナーを設置して、職員の横の連携を駆使する時が来たと思うが、市長の意気込みについて。

○市民生活部長

①ご遺族の心情に配慮したものとなるよう、書類の名称、記載項目の表記について、今後見直したいと考えています。

②令和6年5月23日時点で、県内40市のうち14市が設置しています。

○市長

③ご遺族にとって、お亡くなりになった方の手続きは、相応な精神的負担が伴うものであると再認識しました。これまで以上に、ご遺族の方が手続きを円滑に行うことができよう、関係各課が十分に連携し、市民の皆さまに寄り添った丁寧な対応となるよう取り組んでいきます。

また、おくやみコーナーについては、他自治体の例を参考に、今後、調査研究を進めていきたいと思っています。

解体予定の 公共施設を活用した 救助訓練について



栗原 信司
議員



過去にも、夜間避難訓練、ペット同行避難訓練、着衣水難訓練を提案し、実施してもらいました。また、解体予定の公共施設を活用した救助訓練についても平成28年に取上げました。

その際の答弁では日常の訓練に加えて、現場を想定できる訓練になることで、実りあるものになるとのことでした。実際に旧市立病院の解体時に、救助訓練を行ってもらいましたが、一般市民の見学はできなかったこともあり、その際の総括と訓練内容を踏まえて、今回は旧本庁舎を活用した場合はどうなるのか、伺います。

○消防長

今回、旧本庁舎を活用しての救助訓練は「破壊を伴わない訓練」と「破壊を伴う訓練」の2つを計画しています。複雑多様化する災害に対する知識と技術の向上と、市民

の安心・安全を守るため、個人の活動能力と組織力強化につながることを目指し、本市消防本部が保有する車両、資機材の効果を生かした訓練となるように、実施に向けて関係部局と調整中です。

救助訓練の見学については、間近でご覧になれるよう、安全管理に配慮した見学要領を検討します。

このほか

○市制20周年の迎え方について

○公用車・EV車両のカーシェアの導入について

○浸水対策について

大沼陸上競技場の リニューアル整備について



木村 圭一
議員



大沼陸上競技場のリニューアルに関しては、ウイング・ハット周辺に整備予定の総合体育施設が完成するまでには、相当の時間を要することから、まずは、大沼公園で陸上競技をはじめ、多様なスポーツ・レクリエーションの活動ができるよう整備していくとのこと

とですが、その進捗状況について伺います。

また、市民の方より、陸上競技場として整備していくのであれば、公認記録として残すようにしなければ、競技場として意味がないのではとの疑問がありました。公認競技場の登録はするのでしょうか。

また、整備に当たっては関係団体と十分な協議をする必要があると考えますが、本市の見解を伺います。

○社会教育部長

進捗状況については、令和5年度に測量を実施し、併せて実施設計に着手しています。

令和6年度は、引き続き実施設計を進めるほか、地質調査を予定し、令和7年度の工事着手に向けて進めています。

陸上競技場の公認取得と今後の整備については、公認の必要性をはじめ、関係団体からの意見などを踏まえ、判断していきたいと考えています。

このほか

○上下水道の耐震化・ライフライン対策について

○新庁舎の課題について

○春日部駅周辺の無電柱化について（春日部市中央一丁目地区第一種市街地再開発事業）

春日部市の 観光施策について



鈴木 一利
議員



春日部市観光協会が一般社団法人として設立されて3年が経過しました。そこで、一般社団法人春日部市観光協会設立における成果と本市の観光の現況について伺います。

また、春日部市にある首都圏外郭放水路が、国から「インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト」のモデル地区に選定されました。このチャンスをしっかりとつかみ取るためにも、春日部市の観光ビジョンや基本方針を伺います。

また、春日部市観光リピーターの増加および新規観光客の増加策のためにQRコードを利用したアンケートの作成や春日部市観光アプリの導入についての見解を伺います。

○環境経済部長

平成30年度に春日部市観光振興基本計画を策定し、観光ビジョンを「川」とともに暮らす歴史といまを未来につなぐ観光地春日部」と定めて

います。また、基本方針の中で、観光資源魅力向上・創出、観光ブランディング、受入基盤強化、地域のちから活用、観光推進体制の強化の5つの方針を示しています。

※QRコードを利用したアンケートや観光アプリの作成については、他の自治体の事例を調査研究し、導入について検討していきたいと考えます。

このほか

○新型コロナウイルスワクチン接種の助成を

○校内教育支援センターの設置について（不登校解消について）



首都圏外郭放水路

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ドッグランについて



中村 貴彰
議員

ドッグランは、犬と飼い主が楽しいひとときを過ごすための特別な場所であり、犬とのコミュニケーションを深め、社会性を育むための大切な場として、多くの人々に愛されています。本市の愛犬家の中でも、ペットを自由に、かつ安全に遊ばせることができるドッグランへの期待が高まっております。設置要望の声を非常に多く頂いています。個人的に要望していた、内牧公園のテーマパーク化の実現に向けて、内牧公園にドッグランを設置していただきたいと思っています。すし、庄和総合公園やさらには県営春日部夢の森公園も一つの候補としてあるのではないかと思います。

本市には、遊歩道や公園も多くあり、犬を飼う人にとって良い環境だと思えますが、もともと犬と触れ合える特別な場所として、ドッグランを公園に設置することについて、

市長の考えを伺います。

○市長

設置には、近隣の方の理解が欠かせないなどの課題があると思っております。しかし、動物愛護への関心が高まる中、飼い主の方が愛犬と触れ合い、共に楽しみ、飼い主の方同士の親交を深められる環境があることは望ましいと考えます。今後は、既存公園などを中心に、適地の選出およびドッグラン設置を検討していきます。

このほか

- 公園について
- 図書館について
- 農業支援について



ドッグラン (イメージ)

入学式のありようを通して 教育の在り方を考える



古沢 耕作
議員

今年の市立小・中学校での入学式において、「時間短縮」という理由で、ご来賓として招いた地域のかたがたのお名前を紹介しないケースがあり、それとは対照的に、市長のビデオメッセージが時間を確保して紹介されていたことに、私は違和感を抱きました。

こどもたちは、矛盾に敏感です。

生きていく上で、あるべき「優先順位」を教える学校という場が、ややもすると、目の前に居る大切な人よりも、いわゆる「偉い人」への配慮を優先している、と誤解されるメッセージを送ってしまったのではないのでしょうか。

この危機感を踏まえて伺います。

市長は、ご自身で発案されたビデオメッセージが、結果的に、市職員のかたがたの仕事や、入学式のやり方に、影響を及ぼしたという自覚はありますか。

りますか。

教育長は、今回の学校での判断が、こどもたちへの誤ったメッセージになったという認識はありますか。

○市長

今後も、こどもたちにとってより良い方法で、祝意を伝えていきたいと考えています。

○教育長

こどもたちに間違ったメッセージを送ったという認識はありませんが、来賓紹介において、配慮が至らなかつたと感じられる点については、改めて、検討していきたいと考えています。



河井 美久
議員

春日部市中央一丁目地区 第一種市街地 再開発事業について



春日部市中央一丁目地区第一種市街地再開発事業は、春日部駅西口ロータリーに隣接した、広大な土地利用の再編を図る事業であることから、中心市街地の利便性や価値の向上を図る上で、鉄道の高架化や駅前広場リニューアルと一体的に検討する絶好の機会

だと思っています。

この地区の再開発事業は、市としても重要な位置付けであるとのことなので、これから先も引き続き、再開発事業が円滑に進むように、注視していく必要があると思います。

○都市整備部長

現在の進捗状況については、権利者で構成する「世話人会」により提案された、街区ごとで検討を進めており、街区ごと到低層棟と高層棟を設置し、事業化の検討をしているところだ。

市においても定期的に関係権利者を対象とした「権利者の会」を開催し、再開発に関する情報共有の場を提供するなど、再開発事業が円滑に進捗するように支援しているところだ。

課題については2点あり、1点目は関係権利者の合意についてです。事業を円滑に進めていくためには、高い水準での合意形成を図ることが重要であると認識しています。

2点目は工事費の高騰です。今後においては、建設コストを重視した事業計画を検討する必要がありますと考えています。

災害の被災者に 生活再建のための 支援



並木 敏恵
議員

市内で火災が相次ぎ、亡くなった方もいます。

火災の多くは予防できますが、放火やもらい火で、何の落ち度もなく住宅や財産を失った方には、住宅再建のために行政の支援が必要です。

市のお見舞金の支給金額、件数について伺います。

また、こうした困難に寄り添って、生活再建のために一層の支援を求めますが、その認識を伺います。

当面のホテルなどの宿泊代、冷蔵庫、洗濯機などの家財道具、焼けた住宅の解体、撤去処分の費用を補助できないか。ペットのいる方は、市営住宅で対応できないか伺います。

○福祉部長

見舞金の支給額は、家屋全焼で10万円、半焼で5万円、死亡で10万円となっています。令和5年度の支給件数は、全焼が9件、半焼が2件です。被災者への支援の必要性は

認識しており、そのため、救援物資の提供や災害見舞金など、生活支援を行っています。現在、宿泊費、家財道具、住宅の処理費用の補助は行っていない。

○都市整備部長

火災の罹災者に、当面の生活の場として市営住宅を一時的に使用していただくことで、生活再建を支援しています。市営住宅では、動物の飼育は禁止していますので、火災による一時入居も同様です。

このほか

○住み続けるための「足」の確保へデマンド交通の導入を

教育における タブレットについて



平沢 一博
議員

徳島県の県立高校などに配布した1万6500台のタブレットのうち、故障台数が約6割に達したとのこと。令和4年から本格的にスタートしたAIDリルの活用を含め本市の学校教育でタブレットは欠かせない存在になっており、情報活用能力を身に付

特定外来生物や 外来生物などによる 被害への対策について



鬼丸 裕史
議員

桜や梅の木を食害し、枯死させる、特定外来生物であるクビアカツヤカミキリによる被害が、春日部市内でも出たとの報道がありました。

また、ポピーに似た花で素肌にかぶれを起こすなど、人の身体に被害をもたらす植物の外来生物であるナガミヒナゲシが、春に市内の至る所で咲きました。

市ホームページやSNSだけでなく、市民の皆さまにきめ細やかに情報提供し、注意喚起を行うことが必要であると考えます。

そこで、市内における特定外来生物や外来生物などによる被害状況と対応について伺います。

○環境担当部長

市内における被害状況ですが、令和5年に道の駅「庄和」やその周辺で、クビアカツヤカミキリによる桜の木への被害や、ツヤハダゴマダラカミ

キリによるカツラの木への被害で、幹を枯死させるといった被害が確認されています。対応については、薬液の注入や伐採するなどの措置を講じているところです。

また、ナガミヒナゲシについては、市ホームページで駆除方法や毒がある旨の周知をし、注意喚起を行っています。今後については、市公式SNSや市の主催イベントなどにおいても情報発信に取り組んでいきたいと考えています。

このほか

○水道事業におけるゼロカーボンシティ推進について

この虫を見かけたら連絡を！！

幼虫はもも、すもも、うめ、さくらなどの樹木を食い荒らし、樹を枯らす特定外来生物

クビアカツヤカミキリ

体長：2～4cm
特徴：首の周辺が赤い
成虫発生時期：5月下旬～8月中旬

被害を防ぐため「踏みつぶして」ください！！

特定外来生物 提供：和歌山県

内牧地区における 交通施策について



金子 進
議員

本市のコミュニティバスである「春バス」については、第四次春バス運行計画において、内牧地区で運行していた「豊春駅・内牧・北春日部駅ルート」が、ルートの再編方針により、令和6年1月から廃止となりました。

官民連携や地域連携を取り入れた、横浜市都筑区にある都田・池辺地区では、地域で組織された非営利法人を運行主体として、日中の移動に困りの方の買い物や通院など、移動支援を行っています。利用者には、燃料費として実費を負担し、横浜市は車両に対する助成、運行の支援を担っています。このような取り組みを内牧地区で実施する場合の市の考えを伺います。

○都市整備部長

横浜市都筑区の事例は、地域の方々が主体となって組織された協議会が、地域の共助による移動手段確保の取り組み



横浜市都筑区 都田・池辺地区ボランティアバス

みとしてボランティアバスを
実証運行し、その成果を基に、
地域による自主運行の体制を
整えたものです。同様な取り
組みを内牧地区で実施するこ
とは、地区のかたがたの移動
手段として、暮らしやすい地
域づくりのためにも、大変効
果的な施策だと考えます。
今後は、地域のかたがたと
意見交換を行いながら、実現
の可能性について協議してい
きたいと考えています。
このほか
○内牧黒沼公園について
○春日部駅の新たなランドマ
ークづくりについて

本市の公共施設の 有効活用について



大里 昇
議員

本市は道路などのインフラ
施設や学校など、多くの公共
施設が整備されてきました。
しかし、更新時期を迎え、大
規模修繕費なども巨額で、財
源が限られていることも憂慮
しています。公共施設の適正
配置に注目し、これからは財
政面でいかに歳出を抑えるか
も重要課題であると思います。

安定した財政に向けては、
公共施設の維持管理費の縮減
や閉鎖施設の有効活用を図る
ことが重要だと思われます。
そこで、公共施設マネジメ
ント基本計画では、閉鎖する
施設をどのように有効活用し
ていくのか、また、Park
+PFI制度を導入した場合、
財政負担軽減などがどのよう
に図られるか、お伺いします。
○公共施設事業調整担当部長
公共施設マネジメント基本
計画においては、施設の複合
化、譲渡、PFIの導入など
を閉鎖や廃止する施設の有効

活用の取り組みとして位置付
けているところでです。

○建設部長

Park+PFI制度によ
る財政負担軽減策などは、民
間事業者が設置する施設の収
益を活用して一部の費用負担
を行い、公園管理者の市が整
備する公園施設の建設を行う
ことから、市の歳出軽減に寄
与するものです。また、設置
する施設に対して、市は使用
料や固定資産税などを徴収す
ることから、市の歳入増加に
寄与するものです。
このほか
○本市の生活保護について

「ゴミ集積所」について



会田 吉幸
議員

ごみ集積所は、主に自治会
の班単位などで場所が決まっ
ていると思いますが、自治会
に加入しないとごみは出せない
のか、などの疑問が生じま
す。そこで、以下伺います。
①地域のごみ集積所は主に居
住地域の自治会が管理してい
ると思われるが、転入してく

て間もない方から、ゴミ集積
所利用について相談があった
場合、市はどのように対応し
ているのか。

②日本語が堪能ではない外国
人への、ごみ出しを含めた日
常生活へのサポートは、どの
ように行っているのか。

○環境担当部長

①転入した方で、利用できる
ごみ集積所が分からない場合
は、まずは近隣のごみ集積所
を地図上でお示しし、その維
持管理をしている利用者の方
もしくは住宅を仲介した不動
産会社などに相談いただくよ
う案内しています。

○市民生活部長

②本市においては、日本語に
加えて、英語、中国語、韓
国・朝鮮語の表記を併用し、
主要施設の場所を地図上に記
載した多言語版のかすかべガ
イドマップを配布しています。
また、関係機関が行ってい
るサポートとして、春日部市
国際交流協会の日本語教室を
ご案内しています。この日本
語教室は、日本語が分からな
い方が日常生活を送る上で持
つ不安や悩みを少しでも解消
できるようにコミュニケーション
の手段としての日本語を
学習できる場となっています。

北春日部周辺の まちづくりについて



阿部 雅一
議員

3月の北春日部駅周辺地区土地地区画整理組合総会では、岩谷市長、地元市議会議員4名がお招きいただき、この總會の方針の決定事項において、事業費圧縮のため、業務代行者の清水建設株式会社がやむを得ず変更されるとの内容がありました。

区画整理組合においては、事業推進の身を切る調整を行っている中、なにぶんにも大企業のため、後任の業者さんとの契約が直ちに締結されるものではないと承知しています。しかし、この事業を待ち望んでいる内牧地区のかたがた、私も4名の地元市議会議員は一日も早い工事着工を望んでおり、一致団結して本市にあらゆる支援策の働きかけをしていきたいと考えています。

そこで、この北春日部駅周辺地区土地地区画整理事業の現在の状況をお伺いします。

○都市整備部長

北春日部駅周辺地区土地地区画整理事業について、事業主体である土地地区画整理組合に確認したところ、現状は、今年3月に開催された組合総会后、工事施工を希望する後任の事業者と本年秋頃の業務代行契約の締結に向け、工事内容の精査や工事工程などの検討など、さまざまな調整を行っているということでした。

このほか

○市立医療センターの経営状況について

○消防施設の老朽化対策について

除草について



今尾 安徳
議員

本市は、現在、北春日部駅周辺地区土地地区画整理事業に取り組んでいます。

事業主体は、土地地区画整理組合ですが、この間の物価高騰などの影響で、事業の見直しが現在進められています。

事業が停滞する中、雑草繁茂が進み、地域住民の方から

周辺環境の悪化や、犯罪などの心配から、除草対応を求める声が寄せられています。

実際に、北春日部駅から夜遅く帰宅する方や、一緒に駅を降りた女性などからは、危険を感じるので、人と離れないように歩いている、との声も寄せられています。

事業主体は組合とのことですが、組合設立の前は、市も通学路周辺の除草などをできる範囲で行っていました。

市民の安全のため、市としても何らかの対応が必要ではないかと考えます。

市の考えをお聞かせください。

○都市整備部長

北春日部駅周辺地区土地地区画整理事業については、令和4年に設立された土地地区画整理組合により事業を行っています。除草については、土地の所有者や管理者が適正に管理することが原則で、本事業の区域については、組合において対応しています。

事業地の除草要望などは、速やかに組合にお伝えし、対応をお願いしています。

このほか

○「子育てするなら春日部に」新たな施策と情報発信を

がん予防について



藤原 智子
議員

子宮頸がん予防のためのHPVワクチン接種は、勧奨差し控えの影響を受けた対象者に、キャッチアップ接種が期間限定で設けられています。接種率は伸び悩んでいます。

報道された当時のインパクトを考えると、健康被害への懸念を払拭することは容易でないと思います。

しかし、市民の命に関わる問題です。ワクチンの安全性に対する正しい理解の不足が原因で、公費での接種期限（令和6年度末）を迎えてしまう方がいないように、プッシュ型で情報発信できる、市の公式ラインやX、Instagram、フェイスブックなど、SNSを使つての周知もするべきと思いますが、いかがでしょうか。

○健康保険部長

HPVワクチンの過去の接種者数の動向では、夏休みを利用して、8月に接種者が増

加する傾向があります。

本市では、6月にはがきでの個別勧奨、その後、国からのSNSなどを活用した情報発信に続き、1回目の最終接種時期となる9月に、市広報紙へ接種勧奨記事の掲載を予定しています。このことにより、対象者だけでなく、家族や友人など、広くHPVワクチン接種情報を話題としてもらうことで、周囲からの後押しも期待でき、効果的な接種勧奨になると考えています。

このほか

○自転車用ヘルメットの着用促進について



キャッチアップ接種（イメージ）

企業版ふるさと納税について



永田 飛鳳
議員



岩谷市長は、令和4年・5年・6年の施政方針でも、私が令和4年3月に行った一般質問の答弁でも、企業版ふるさと納税を税外収入の確保として「積極的に取り組む」、「私自らがトップセールスでPRする」と意気込んでいたと思います。

ですが、ふたを開けてみれば、企業版ふるさと納税の実績は令和3年0件、令和4年1件、令和5年2件。トップセールスで取り組むと意気込んでいた割には、結果が芳しくないと思うのですが、岩谷市長は具体的にどのようなトップセールスを行ってきたのか。併せて、それに対する自己評価を伺います。

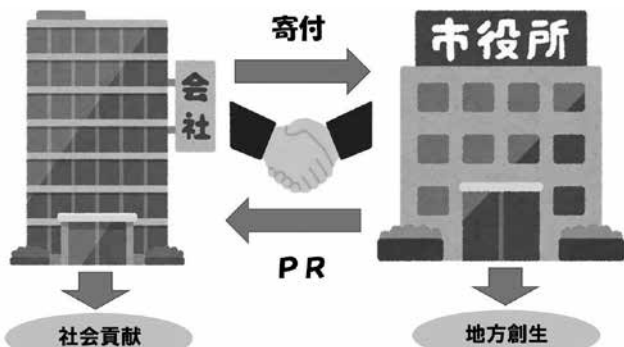
○市長

個人向けふるさと納税については、私自らも市内業者などに直接足を運び、ご案内し、新規事業者の獲得と新たなお礼品の提供、また、額の増加

につなげてきたところです。企業版ふるさと納税については、十分な取り組みができていないと認識しています。今後は寄付先として本市を選んでもらえるよう、さまざまな機会を通じてPRしていきます。また、本市の地方創生に向けた取り組みを、企業の皆さまにご賛同いただくことが大変重要と考えており、市の取り組みを丁寧に説明し、改めて私も含め積極的にPRしていきたいと思っています。

このほか

○2024年問題解決のための取り組みについて



企業版ふるさと納税（イメージ）

春日部夏まつりの課題について



山口 剛一
議員



春日部夏まつりは「安定的な運営」という観点から、さまざまな課題があります。

大人みこしパレードに参加する各自治会で集めている夏まつり特別会計は、20%〜30%という大幅なダウン。第47回春日部夏まつりが、約480万円、昨年の第51回は約880万円と、事業費の大幅な上昇。一方で令和5年「大風あげ祭り」事業費は、約1900万円です。

今年の春日部夏まつりですが、県道春日部停車場線にトラックを使用した有料の機敷席を設置すると伺っています。安全面での十分な配慮が必要と思われるが、なぜ有料の機敷席を設置するのか、お伺いします。

○環境経済部長

実行委員会としては、20基以上のおみこしが豪快に練り歩くパレードを、ゆつくりと鑑賞していただける場所を提

供することで、春日部夏まつりの観光資源としての魅力、価値を高めるとともに、多くの方に来年以降もお越しいただくことを目的として取り組んでいるものです。

市としても有料観覧席販売の収益を夏まつりの財源の一部として活用することで、今後も夏まつりが実行委員会により、安定的に運営されることを期待しているところです。

このほか

○本市の働き方と職場環境について

○春日部市における国際交流事業の課題について

春日部市の治水対策について



荒木 洋美
議員



近年、地球温暖化などの影響により、ゲリラ豪雨や降ひよう被害など異常気象に見舞われています。

昔に比べ、雨の降り方が尋常ではなく、治水対策の強化は極めて重要です。

春日部市では、氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対

策として、内水氾濫に対応するための排水ポンプ施設の整備とありますが、庄和地域の下柳、水角地区の浸水対策についての考えをお伺いします。

○建設部長

はじめに、下柳地区の浸水対策は、春日部市都市インフラマネジメント河川計画に基づき、今年度は、埼玉葛城農道と国道16号との交差点の西側にある下柳川端排水機場で、老朽化した口径250ミリメートルの排水ポンプ2基の更新工事を予定しています。

次に、水角地区の浸水対策は、今年度は、中川へ雨水を排水する水角排水機場の自家発電機を更新する予定です。

この排水機場は、現在、地元のかたがたに運転管理を委託していますが、令和5年度より、職員による現地調査や、地元のかたがたのご意見を聞くなど、排水機場の自動化に向けた検討を実施しています。このため、設備更新に併せて、令和7年度までに、排水機場の自動化が図られるよう計画していきます。

このほか

○SDGsの取り組みについて

○共生社会の取り組みについて

子育てについて



榛野 博
議員

宿泊型産後ケアは春日部市では4カ月ですが、せっかくこの制度を知ったとしても、もう期限が少ししかないという状況もあるそうです。1年に延長したほうがいいのではないかと思います、その考えがあるのか伺います。

また、よく比較される上尾市においては、宿泊型だけでなく、日帰り型や訪問型があるようです。春日部市として子育て世代の方が、より利用しやすいように、宿泊型だけでなく、日帰り型や訪問型を追加していくことの考えはあるのか伺います。

○こども未来部長

専門的なケアを必要とする時期の母子が、必要な時に必要なケアを受けることができるよう、受け入れ施設の拡充を重点的に医療機関などと協議してきました。今後は、対象期間の延長についても、産後ケア実施機関と協議を進め

ていきたいと考えています。

また、日帰り型や訪問型による産後ケア事業についても、その重要性について認識をしていますが、産後ケア事業において、どのような方法で利用したいか、施設や対応してほしいスタッフは誰かなど、利用する方が、より求めているサービスを把握することも重要であると考えています。既に実施している近隣市町の実態も参考にしながら、今後の産後ケア事業の充実に向け、調査・研究を進めていきます。このほか

○喫煙について

笑う門には福来る、グラウンド・ゴルフ専用コートの設置を



大野とし子
議員



高齢者から、「グラウンド・ゴルフは体を動かし、おしゃべりもできるので、とても楽しみです。」との声を多く聞き、高齢者の生きがいであり、健康寿命の延伸にもつながっていると感じています。春日部市総合振興計画に、「スポーツ・レクリエーショ

ンを含む健康づくりや生きがいづくりなどを促す環境をつくり、健康をはぐくむまちを「目指す」とありますが、グラウンド・ゴルフと、健康寿命の関係を、市はどのように考えていますか。

また、友達と気軽にグラウンド・ゴルフができる専用コートが欲しいとの声があります。近隣市で増えてきたこともあり、強い要望となっています。いつでも、気軽に楽しめるように、専用コートの設置をと考えますが、市の考えを伺います。

○社会教育部長

グラウンド・ゴルフは、スポーツを通じた健康長寿社会の実現やコミュニティの創出といった地域の活性化にもつながるものと考えています。

○市長

市内にあるスポーツ施設や公園などを積極的に活用いただき、専用コートの設置については、要望やニーズに耳を傾け、必要性を見極めていきます。

このほか

○健康長寿をめざし、加齢性難聴者への補聴器購入補助を
○旧町道1号の改善で、安心、安全な暮らしを

「まちなかひろば」の活用について



奥沢 裕介
議員

「まちなかひろば」を活用して、市民などの方が、イベントを開催する場合の支援体制について、お伺いします。

また、市が推進している事業を、市内外にアピールするイベントを開催することは、シティーセールスを行う上で、とても有効であると考えますが、市としての考えをお伺いします。

○財務部長

イベント開催への支援については、イベントを開催したことがない市民や、各種団体の皆さまにも、安心して利用できるように、ブルーミーズ春日部を運営している食堂運営事業者と、まちなかコンスパス運営業務委託の契約を締結し、日程調整から開催までの相談、助言を行っています。

○総合政策部長

イベントを通じて、市が取り組んでいる事業をアピール



市役所「まちなかひろば」

し、市の魅力や特色を市内外に広く知っていただくことは、大変有効な取り組みであり、その会場の一つとして、まちなかひろばの活用は、有効であると考えています。関係部署と連携し、各部署にまちなかひろばを含め、コンスパスの積極的な活用を促していきたいと考えています。

このほか

○ゼロカーボンシティ推進について

○治水対策（1000ミリ安心プラン、中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト）について

傍聴にお越しください

本会議の傍聴を希望される方は、市役所本庁舎5階の傍聴者受付で、住所および氏名をご記入の上、傍聴券を受け取り、傍聴席に入場してください。
傍聴席は60席（うち車椅子席4席）で車椅子のままでも傍聴できます。
また、小さなお子様連れの方でも気兼ねなく傍聴していただくために、ガラスの壁で囲われた親子傍聴席も設置しています。

合計	17	13	11	10	6	5	6 3	30	5 27	月日	今定例会傍聴状況
210	4	24	26	64	27	61	0	2	2	傍聴者数	
	討論・採決	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	委員会	質疑	上程・説明	主な日程	

傍聴して一言

通学に対しての不安が大きいので春日部市全体の問題として、免許返納者が困らない交通を計画してほしいと思いました。
女性・46歳

初めて傍聴しました。議案の内容に不満があり、緊急度の高いものを取り上げられていとは思えません。
男性・72歳

新しい議場は傍聴席に親しみがあったいいです。
メモを取るのに不自由であり、テーブルがほしいです。
男性・81歳

お悔やみ関係の窓口が他の市町村にあると聞きましたので、春日部市もこのように対応してくれる窓口があればと思います。
男性・78歳

答弁は分かりやすく、よかったと思います。もう少し市民が参加するようになると思いますね。
男性・76歳

※割愛させていただいた部分もあります。

全国市議会議長会表彰

令和6年5月22日に開催された全国市議会議長会第100回定期総会において、次の方が表彰されました。

また、6月定例会の会期中に、表彰状ならびに記念品の伝達が行われました。

表 彰【在職10年】

- 石川 友和 議員
- 水沼日出夫 議員



閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

5月21日

・令和6年6月定例会の運営について

▽広報広聴委員会

6月21日

・議会だより第76号について

7月1日

・議会だより第76号について

▽図書室運営委員会

6月21日

・令和6年度購入図書の申し込みについて

他議会からの視察受け入れ状況（令和5年度）

No.	来庁日	来庁議会	視察内容
1	令和5年 5月18日	長岡京市議会（京都府）	リノベーションまちづくりについて
2	令和5年 5月31日	さいたま市議会（埼玉県）	救急車の人工呼吸機能付き自動心肺蘇生器配備について
3	令和5年 7月 4日	倉敷市議会（岡山県）	水田収益力強化事業（米粉用米の栽培及び活用）について
4	令和5年 7月24日	さいたま市議会（埼玉県）	春日部市立江戸川小中学校について
5	令和5年 7月28日	荒尾市議会（熊本県）	「パレットやぎさき」について
6	令和5年10月19日	松山市議会（愛媛県）	シティセールス推進の取組について
7	令和5年10月26日	魚沼市議会（新潟県）	市営住宅施策について
8	令和5年11月13日	武雄市議会（佐賀県）	リノベーションまちづくりについて
9	令和6年 1月18日	安来市議会（島根県）	シャッターアート「日光道中粕壁宿」の取り組みについて
10	令和6年 1月22日	川越市議会（埼玉県）	小規模特認校について

意見交換会
(議会報告会)を開催しました

市議会では開かれた議会を目指し、議会報告会を開催しています。

今回は、若い世代にも議会の活動や市の政策を知っていただくための重要な場と考え、3月21日に春日部女子高等学校の生徒さんを新本庁舎にお招きし、開催しました。

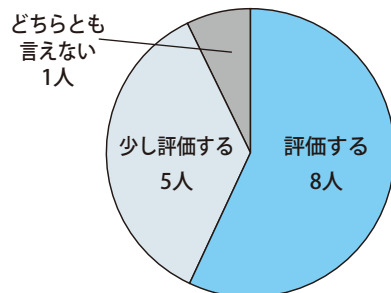
前半は新しい本庁舎の見学を行い、後半は三つのテーマについて、グループに分かれて、生徒さんからご意見などを伺う意見交換会を行いました。その後、各グループから発表していただきました。

お忙しい中、ご参加いただきました生徒さん、学校関係者の皆さまには、貴重なご意見やご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。なお、市議会ホームページでは、アンケートの集計結果などを掲載していますのでご覧ください。

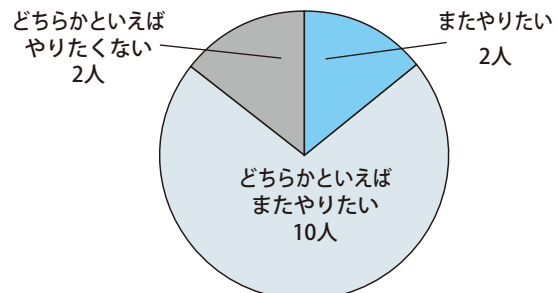
詳しい内容は
こちらから



令和5年度 意見交換会(議会報告会)アンケート集計結果 (一部抜粋)



意見交換会(議会報告会)を開催したことの評価



今後の意見交換会(議会報告会)の開催について

編集後記

本定例会において、条例の改正や補正予算などの議案等20件のほか、議員提出議案9件が慎重に審議されました。中でも昨今の異常気象による高温化や災害発生時の避難所となる小・中学校等避難所空調設備設置工事の請負契約が全員一致で可決され、万が一の際には安心して避難できる環境が準備されます。また、牛島・川辺・桜川小学校校舎トイレ改修工事も全員一致で可決され、こどもたちが利用しやすいトイレ環境も整ってきます。市民の誰もが安心して暮らせる春日部市を目指し、市議会議員一同、精進してまいります。

また、6月定例会において、議会人事が行われ、広報広聴委員会も新体制となりました。新しい委員体制のもと、議会だよりの充実を図るとともに、広報と広聴の機能を一層強化し、議会と市政に関心を持っていただけるよう、市民の皆さまに身近で、開かれた議会の実現に向けて、委員一同努力してまいりますので、よろしく願いたします。

広報広聴委員会

委員長	会田 吉幸
副委員長	木下三枝子
委員	山口 剛一
委員	平沢 一博
委員	伊藤 一洋
委員	中村 貴彰
委員	藤原 智子
委員	大里 昇
オブザーバー	小久保博史
議長	栗原 信司
副議長	



〒344-8577
埼玉県春日部市中央七丁目2番地1
春日部市議会
TEL 048-796-8395